

令和4年度 各務原市高齢者虐待対応事例報告会

グループワークシート まとめ

- ① 虐待（疑い）ケースに関わってどう感じましたか。疑問・不安はありますか。または、事例を聞いてどのように感じましたか。

グループ1

・介護者は「もう一緒に生活したくない」「殺したくなる」との言葉を聞いてもご本人はここで暮らしたいという等気持ちのへだたりがある。また、一緒に暮す息子より外の娘への信頼度がちがいがご本人への暴言となる等虐待となるのではないかと不安がありどの時点でどこに相談するか等事例から少し見えてきた

グループ2

- ・今までこのような事例はなかった。サインに気付いてなかったかもしれない。
- ・たたいてしまったと訴える方があったが声をかけるのが難しい。
- ・介護者が利用者本人から杖でたたかれることがあった。
- ・介護者による本人への暴力があり、包括や警察の力を借りた。
- ・SSから利用者が戻るとイライラすると家族からの声を聴くことがある。
- ・意識なく虐待しているケースがある。
- ・親に叩かれて育ったからと虐待しているケースがある。

グループ3

- ・現在虐待ケースはない。CMになりたての頃虐待事例があった。包括や通所介護等いろいろなところに相談し知恵をもらい進めていくことが大切だと感じた。
- ・今回の二つの事例は難しい事例だった。他機関に相談しながらうまく着地点に到達し思った。
- ・経済的虐待の事例を抱えている。長男が親の年金を無心している。包括や先輩 CM に相談し意見を聞きながら対応している。
- ・今回の事例は複雑で難しかった。
- ・虐待の事例がある。息子と二人暮らし。認知症があるが息子がサービスを使わせたがらない。閉じ込めている状態で施設を勧めているが息子は非協力的で困っている。
- ・今回事例は複雑だった。支援しなければならない人が複数いると大変と感じた。
- ・虐待の事例は今はない。かつて暴力ケースがあったが親子の絆が深い事例だった。
- ・デイサービスの立場から CM に報告して連携をとった。デイサービスとしては普段と変わらない対応し息子を理解しているという姿勢を貫いた。

・障害がある子が親の思いを理解することができず虐待につながることもある。介護者の負担が大きい。支援者が常にアンテナを張っていることが大切。

グループ4

- ・知的障害であっても高齢になって介護保険を利用して初めて世帯単位で大きな問題になっていることが多い。自分たちでは判断能力が弱くて、問題に気付いていない。
- ・被害者、加害者の意識の違いで虐待と判断が難しい。心理的なものは気付けないことも。
- ・知的障害で意思が伝えられてもその意思が変わってしまい施設に入る意思が定まらず難しかった。
- ・デイで痣を見つけても本人は「たたかれた」と言ってもそれが事実か分からなかった。
- ・痣があるとデイを休むケースがあり、事実が分からず結果家族内で暴力的なことがあると分かった。

② 高齢と障がい分野の連携が必要だと感じるケースがありますか。【虐待（疑い）ケース以外も含めて】

グループ1

・若いご利用者だと障害支援も必要となる。包括や高齢福祉課、基幹相談センターに相談しながらショート多く利用し障害者 GH を探していく。

グループ2

・虐待疑いを含め相談援助につなげていく

グループ3

- ・未婚の子、老々の親。親の年金を当てにして生活している子のケースを抱えている。今後基幹相談センターに相談する必要があるケースになるだろうと考えている。
- ・精神疾患の知識がもともとない。自分だったらどのように対応してよいのかわからない。
- ・金銭管理が難しい子が親を介護している。子には軽度の発達障害があると感じるが制度に結び付いていない。障害支援に結び付いているケースはまだよいが、境界あたりにいる人は認定されずにおり支援に困惑したケースがある。
- ・小児麻痺の子と90代の母のケースを障害支援センターと連携をして支援したケースがあった。

グループ4

・母・娘で父の終末を見るケースがあったが、疲れで母・娘で喧嘩になる。本人にあたるケースがあった。

- ・障害・発達障害を関わっていて感じるが本人が気付いていないと指摘もできないし関わりが難しい。
 - ・ひきこもりがあっても本人は困っていない。実際問題が起きないと対扱できないこともある。
- ③ その他【虐待に関する事、高齢と障がい分野の連携に関する事等ご自由に意見交換】

グループ1

- ・障害者 GH も能力に合わせて入所施設を選ぶ事が出来る様金銭的な事あり要相談が必要となる。

グループ2

- ・家族と本人の思いの違いが虐待につながる可能性あり。
- ・介護のストレスが家族（本人以外）子にいくケースもある。
- ・先輩 CM に相談しながら支援していく。一人で抱えない事。

グループ3

話し合いに至らず 記載なし

グループ4

- ・チームで情報共有、関係者間で話しやすく同じ温度感で協力することが大切。
- ・何かあった時相談できる包括支援の場があるので有難い
- ・本人の意思を尊重することも大切だけど、判断能力に欠ける場合はある程度の強制力も必要な事もある。